# JIFMA SDGs

## 日本工業炉協会のSDGsへの取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

日本工業炉協会は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

Vol.005　2021.11

# 持続可能な未来を拓く工業炉業界

**一般社団法人日本工業炉協会では、8つのゴールを重点目標と定め、それぞれの優先課題を設けています。令和3年度上期の具体的な取り組み状況は以下の通りです。**

### すべての人に健康と福祉を

**■労働安全衛生への取り組み**

有害化学物質のマネジメント、削減への取り組みとして、機関誌「工業加熱」にアスベスト（2020年改正石綿障害予防法）やPCB含有工作物への対策に関する情報を掲載しました。今後も必要に応じて勉強会を開催する方針です。

### 質の高い教育をみんなに

**■業界の人材の知識、技能のレベルアップ**

工業炉業界の人材育成のために技術や製品に関する研修会を開催しています。9月には専門基礎講座をWeb併用で開催しました。その際に臨場感ある映像でバーチャル工場見学を併催しました。令和4年2月には中級講座として、誘導加熱の研修会を開講予定です。

### ジェンダー平等を実現しよう

**■ダイバーシティ推進への取り組み**

今年度は「女性の活躍推進」をテーマとして取り組んでいます。業界各社の経営層及び女性社員を対象とした現状把握のためのアンケート調査を実施しており、その結果を基にＳＤＧｓ推進ワーキンググループで今後の課題と施策を検討し提言する予定です。

### エネルギーをみんなに そしてクリーンに

**■省エネルギーへの着実な取り組み**

高効率型（低炭素）工業炉の普及を推進する活動を継続しています。今年度は、脱炭素社会に向けて重要さを増す「省エネルギー診断」の現状と今後の動向について、セミナーを開催し情報発信しました。

### 働きがいも経済成長も

**■働き方改革への取り組み**

昨年度策定した高齢者雇用推進ガイドラインの活用を推進しています。
下期にはセミナーを計画しており、好事例等を紹介する予定です。

### 産業と技術革新の基盤をつくろう

**■工業加熱プロセスにおける$CO_2$削減（技術革新）への取り組み**

協会の各種委員会において、新技術活用に関する情報収集や勉強会を実施しています。機関誌「工業加熱」では、省エネルギーに役立つ技術情報として、「耐火物・断熱材」の特集を掲載しました。

### つくる責任 つかう責任

**■工業炉標準化への取り組み**

昨年3月に発行されたJIS B 8415及び安全計装のリスクアセスメントガイドに関するリーフレットを作成し、関係する各工業会に展開を依頼することで、工業炉ユーザーへの啓発活動を推進しています。

### 気候変動に具体的な対策を

**■省エネルギーによる脱炭素への取り組み**

省エネルギー関係の諸施策の有効活用が図れるよう、関係省庁等に提言を行っています。また、カーボンクレジットについて、機関誌「工業加熱」で解説記事を掲載するとともに、技術企画委員会では勉強会を開催するなど情報収集しています。